

中山虫送り

No. 73
Summer

だより 議会

しょうどしま

contents

審議議案

6月定例会

5月臨時会

一般質問

8人の議員が質問

行政視察

議会あれこれ

2024 令和6年8月1日発行

小豆島町



6月定例会 (6月13日)



屋外拡声子局

▼契約金額

10億4258万円

▼相手方 日本無線(株)

四国支店

◎防災行政無線施設整備事業
屋外拡声子局などの支柱の約7割が30年超となり、劣化が進んでいること、故障時に各無線機器の部品交換で対応できないことから、無線設備を全面的に更新していきます。

《契約案件》

審議の結果

今定例会では一般会計補正予算案や工事請負契約案件、人事案件などが提案され、審議の結果原案通り可決しました。また、8人の議員が一般質問を行いました。



戸別受信機



北条地区更新住宅（第1工区）

◎北条地区更新住宅整備事業（第2工区）

城山会館前に更新住宅を建設します。

【主体建築工事】

▼相手方 (株)藤木工務店

四国支店

▼契約金額

3億9138万円

【電気設備工事】

▼相手方 井口電気工事(株)

池田支店

▼契約金額

6380万円

【機械設備工事】

▼相手方 (有)田中铁工

▼契約金額 6798万円

《人事案件》

教育委員の大石雅章氏の6月30日辞職に伴い、後任に大山修氏の任命に

同意しました。任期は令和6年7月1日から令和8年6月15日までです。



大山 修氏

◎坂手港周辺整備事業

建設中のターミナル横の駐車場及び緑地帯の整備をします。

▼相手方 香川舗道(株)

▼契約金額 6105万円



坂手港周辺

《一般会計補正予算》

◎物価高騰対応調整給付等 一体支援事業

定額減税を行うほか減税しきれない額については給付し、併せて非課税世帯に給付を行うものです。

(1億6147万円)

このたびの国の減税であるが、自分がいくら減税か、わからない。その効果は？



大下議員

◎室生地区土地取得事業

防災備蓄倉庫として、室生分団屯所横の土地を購入するものです。

(135万円)

◎消防団積載車購入事業

老朽化した二面分団積載車を更新します。

(1100万円)

◎統合小学校建設関連事業

通行者の安全確保のため、生垣剪定^{せんてい}などを行うものです。

(141万円)

◎小豆島中学校体育館修繕事業

建屋の内側の雨どいが劣化し、漏水しているため修繕します。

(1518万円)



小豆島中学校の雨どい修繕箇所

地域経済循環創造交付金事業

(1億2353万円)

◎新規創業支援事業

地域密着型の起業や新規事業のための補助金です。(1億1000万円)



河井議員

新たな事業を志す人への支援は推進すべき。

◎エネルギーマスタープラン策定事業

島内で作られた再エネを島内で売買し、エネルギーの地産地消を検討するためのものです。

(1353万円)

町と島の活性化を期待。



高橋議員

観光業への新規事業で地域活性化を期待。



羽田議員

事業として成立すれば、脱炭素社会へとなるか。



川井議員

◎オリブ公園売店改修事業

大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭に向け、島内特産品の販売を強化するため、既存の大研修室を売店に改修するものです。

(2255万円)



オリブ公園大研修室

《条例の一部改正》

【家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例】

【放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例】

児童の安全確保のための計画策定、自動車運行時の置き去り防止などの規定が追加されました。

《その他》

【過疎地域持続的発展計画の変更】

・内海地区統合小学校の新設整備

【辺地総合整備計画の策定及び変更】

・二生辺地（計画変更）

消防資機材および消防車両整備

・三都辺地（新規策定）

集落排水施設の修繕・更新

第2回臨時会（5月17日）

専決処分の承認3件のほか財産の取得案件1件、契約案件2件、予算案件1件が提案され、すべての議案を原案通り可決しました。

《一般会計補正予算》

◎統合小学校基本設計・実設計事業

労務単価諸経費率上昇に伴う増加額を追加計上するものです。

（3134万円）

◎雨水公共下水道整備事業

苗羽港の浸水防止のため、排水設備の設置場所を調査するものです。

（535万円）



小豆島高校跡地

《財産の取得》

内海地区統合小学校建設用地として小豆島高校跡地（3万7886㎡）を購入するものです。

▼取得予定金額

1億1264万1723円

《物品購入契約》

◎し尿収集車購入事業

平成21年度に購入した車両を更新するものです。

▼相手方（有）エビス自動車

▼契約金額

1044万4509円

◎塵芥収集車購入事業

ごみの収集や地区清掃等環境美化活動に使用するものです。

▼相手方

（株）セブンティオート

▼契約金額

761万6849円

《条例の一部改正》

【国民健康保険税条例】

税制改正に伴い、課税限度額を引き上げる一方で、軽減判定所得の見直しを行い、軽減対象世帯の拡大を図るものです。

【町税条例】

個人住民税定額減免規定を創設し、災害発生時等の税金の減免を簡略化したことなどによる改正です。

【過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例】

省令の改正により、課税免除規定が令和9年3月31日まで延期されたことに伴う改正です。

土地取得により小学校統合が進み始めた。地域の特色を活かした教育環境の整備に期待したい。



高尾議員

町政へ。

一般質問

一般質問とは

議員が行政全般にわたり、住民の声や自身の調査研究をもとに、町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や方針などについて質問したり、報告や説明を求めたりすることです。

質問内容	質問者	掲載ページ
▷太陽光トラブルの条例制定を	安井 信之	6 ページ
▷サイクリングコースの管理は		
▷小豆島の今後をどう考える		
▷大学の小豆島キャンパスの誘致を	高尾 豊弘	7 ページ
▷オリーブマラソンのあり方は	河井 修	8 ページ
▷ B & G 野球場に塩化カルシウムを	三木 卓	9 ページ
▷協調性を養える環境を		
▷小豆島町の産業再生に全力投球を	塩田 洋介	10 ページ
▷観光の食と宿泊への取り組みは	羽田 満	11 ページ
▷社会教育施設等の老朽化対策は		
▷訪問介護の充実を	鍋谷真由美	12 ページ
▷給食の安全確保の取り組みは		
▷移動手段の確保を早急に		
▷バス運転手の待遇改善を		
▷「地区防災計画」の策定は	川井 茂	13 ページ

≡ 動画配信中 ≡

本会議での一般質問の様子を『YouTube』で録画配信しています



こちらから

≡ 傍聴できます ≡

本会議はどなたでも傍聴できます
『傍聴』を希望される方は、本会議当日に、議会事務局までお越しください



こちらから



やすい のぶゆき
安井 信之



質問者の動画は
こちらです

問 太陽光トラブルの 条例制定を

答 県と一緒に検討したい

問 観光地の推進を目指す我が町に太陽光発電の条例制定が必要では。

答 県は、太陽光発電に関するガイドラインを策定し、運用している。災害のリスクや地域への影響等を把握し、適

正な設置、管理を求めている。

町としても、カーボ
ンニュートラルの推進
から、県のガイドライ
ンを活用し、事業者と
協議を続けていく。

問 管理ができていない
ところの対応は。

答 生活環境に悪影響を
及ぼすような場合、適
正管理を事業者に求め
ていく。

問 サイクリング コースの管理は

答 安全安心の確保に努める

問 サイクリングコース
の管理は。

答 県では、定期的に草
刈りや伐採をはじめ道
路の巡視など安全管理
をしている。

町でも、枝打ちや草
刈り、清掃、パトロー
ルなどを行っており、
今後も安全・安心の確
保に努めていく。



草刈り予定のサイクリングコース

問 小豆島の今後を どう考える

答 持続可能なまちづくりに
取り組む

答 小豆島全体が消滅可
能性自治体と言っても
過言ではない。

このまま人口減少が
進むと、社会インフラ
への影響だけでなく、
様々な職種の衰退を招
き、生活サービスの確
保が難しくなる。

私のミッションは、
次代に夢をつなぐ持続
可能なまちづくり、島
づくりに向けて全力投
球することに尽きると
考えている。

問 合併を視野に入れる
べきでは

答 合併というのは、相
手のあることなので、
両町で機運が盛り上が
らなければ、踏み出せ
る状況にない。今は、
まだそういった機運に
は至っていないと考え
ている。

問 消滅可能性地域克服
に2町が協力して取り
組むことが大事では。



たか お 豊弘
高尾 豊弘



質問者の動画は
こちらです

●答 小豆島の主要産業の一つである観光は、他分野にわたる波及効果

●問 小豆島の魅力を伝える育てる観光教育を行う、大学キャンパスの誘致を行っては。

問 大学の小豆島 キャンパスの誘致を

答 積極的に働きかけたい

が見込める裾野の広い産業であり、土庄町とともに連携を強化している施策の一つでもある。

固有の観光資源や観光施設などを有している強みがあり、それらを活用した現地実習あるいは観光事業者との交流、さらには、体験コンテンツの造成による誘客促進など、観光に特化したキャンパス誘致の可能性は十分にある。

●問 観光地や宿泊施設などでの実習がカリキュラムとして組みまれていると聞いたが。

●答 包括連携協定を締結している「せとうち観光専門職短期大学」からは、ふるさと村を活用して、2、3週間程度の実習や体験などの受け入れについて相談をいただいている。

●問 実習で若いアイデアを取り入れられる可能性があるかと考えるが。

●答 豊かな観光資源、産業資源を活用した新たなツーリズムや体験コンテンツの造成あるいは現地実習を通じた町

内事業者と学生との交流を図ることで、地域活性化はもちろん、将来、観光業界で活躍できる人材の育成につながることも期待される。

●問 まずはサテライトキャンパス的な環境の整備を行っては。

●答 サテライトキャンパスの誘致も、町が抱える課題解決の一助となり得る方策の一つであると同時に、学生にとって、またとない経験ができるフィールドでもある。誘致に向けて積極的に働きかけていきたい。



せとうち観光専門職短期大学



かわい おさむ
河井 修



質問者の動画は
こちらです

問 オリーブマラソンの あり方は

答 持続可能な大会づくりを目指す

問 5月に開催されたオリーブマラソンに5年ぶりに参加した。参加料が以前は5千円だったが、昨年は6千円、今年は7千円である。

大きく影響している。コロナ前までは、高松港発坂手港着の臨時船に千人のランナーが乗船していたが、チャーターできる臨時船の変更に伴い乗船定員が500人となったことで、乗船料収入の減により大きな赤字が生じた。

答 参加料引き上げの背景には、資材高騰や人件費の増に加え、選手への送迎における課題が

不足や働き方改革などにより、前回大会から、島内外から大型バスを手配し、ランナーを送迎する必要に迫られ、多額の費用が発生する結果となった。

さらに、コロナ禍の影響で多くの宿泊施設

が休廃業を余儀なくされ、ランナーやスタッフへの弁当についても町内事業者の人手不足などにより島内で調達することができず、大量生産可能な島外事業者へ発注せざるを得ないのが現状である。

時代の変化とともに、従来可能であったことが今はかなわないこともあるが、大会運営に携わる関係機関の意見を生かしながら持続可能な大会づくりを目指していきたい。



オリーブマラソンのスタート付近



みき たかし
三木 卓



質問者の動画は
こちらです

問 住民の方々がより良い環境でスポーツを楽しむことが重要ではないか。

答 老朽化が進んだベンチ、観客席や夜間照明を改修し、利用者が安全に利用できるような点検や修繕を行っている。

問 B&G 野球場に塩化カルシウムを

答 予算を確保し、購入している

問 海風が強く、土埃で周辺に迷惑をかけることや野球場の黒土の状態を良くするため、塩化カルシウムの購入を毎年予算化しては。

答 令和2年度の改修以降、ご指摘の量ではないが毎年購入し、よく使用する場所をカバーしている。

また、近隣住民からの苦情はなく、適切な分量と考えている。



交流保育を実施

況を確認し、令和7年度にグラウンド整備費を予算化したい。

今後は、少年野球、中学校野球部や野球連盟等の関係者からヒアリングを行い、グラウンド整備についての理解を得られるよう協議を進めたい。

問 協調性を養える環境を

答 交流保育で環境を確保

問 少子化である現状を踏まえ、現在の旧内海地区の幼・保に関して、どのように協調性を養うべく計画、実行をしているのか。

答 4幼稚園合同の交流保育を実施するとともに、発表会や運動会なども合同で開催する予定である。少しでも多くの子どもたちが集まり、仲間づくりや集団活動ができるよう取り組む。

課題としては、施設の老朽化に加え、移動手段の確保が難しいことや園児の移動時間が必要となるため、十分な交流時間が確保できない状況もある。

問 今後の幼・保の再編・統合は、どのように考えているのか。

答 幼稚園・保育所の合同保育は、昨年度の月1回程度から週1、2回程度に増やしている。しかし、根本的な課題解決には統合が必要である。

今後は合同保育を行いながら幼・保の統合に向けて準備を進めてまいりたい。



しお た ようすけ
塩田 洋介



質問者の動画は
こちらです

問 小豆島町の産業再生に 全力投球を

答 具体的な提案を

問 小豆島の産業が大変追い詰められている。今後、企業の減少により、関連産業が衰退し、周辺企業や商店も仕事を奪われる。

答 私自身も常に企業から具体的な相談を受けており、行政として何ができるのか考えている。

行政は、民間企業の経営責任を負えないし、経営を主導することできない。

問 企業の編さんには新たな方法もあるが、なかなかその一歩を踏み出せない。その一歩を踏み出すために、後押しとなる協議の場を再度お願いしたい。

答 業界団体で具体的な提案や相談を出していただければ、協力させていたただく。



醬の郷（苗羽）のまちなみ



はだ 羽田
みつる 満



質問者の動画は
こちらです



観光の食と宿泊への 取り組みは



飲食店等の充実を後押しする

問 島の経済の維持発展に重要な施策である観光振興は、食、宿泊の充実が必要不可欠であ

る。
食に関する対応の見直しはあるのか。
答 食の充実に向け、有名シェフを招聘しての食に関するイベントを開催する。
また、魅力創出料理人として地域おこし協力隊員の採用、国民宿舎等における団体昼食の受け入れや宴会需要への対応、サン・オリーヴのレストランの活用方法も検討している。
さらに、島内事業者等の飲食店の開業や既存の飲食店に島外の大手資本が入る案件もある。

ホテルの泊食分離が主流であり、周辺エリアにおける食の確保が重要になることから、引き続き飲食店の充実に後押しする。
問 宿泊施設の現状はどうか。
答 ホテルの誘致が現実になっており、オリーブ公園テニスコート撤去跡地に令和8年にオープン予定、安田港周辺においても令和7年オープン予定と聞いている。

ほかに相談中の案件があり、誘致を着実に進めていく。



社会教育施設等の 老朽化対策は



地元と協議、検討したい

問 令和4年に「社会体育施設等のあり方方針」を策定しているが、現在の進行状況や対策はどのように進めているのか。
答 あり方方針において、中山体育館、勤労青少年ホーム、内海体育館を廃止の方向と定めた。

可能なあり方について協議、検討したい。

中山体育館は、取り壊す方向で昨年9月に地元と協議できている。
内海地区小学校統合後の学校跡地の活用を含めて広い視野に立ち、公共施設全体の持続



勤労青少年ホーム（西村）



なべたに ま ゆ み
鍋谷真由美



質問者の動画は
こちらです

問 訪問介護の充実を

答 サービス提供は十分と認識

問 4月から介護報酬の改定で、訪問介護の基本報酬が引き下げられた。

一人での生活が困難になった場合に必要な訪問介護だが、人手不足が深刻で、利用者の求めに答えられていないのではないかと。現状をどのように認識しているのか。

答 民間事業者の尽力により、需要に対して十分

なサービスが提供されていると認識している。

問 町としても処遇改善をさせていただきたい。

また、国に対して、訪問介護の報酬を引き上げるなど要請すべきではないか。

答 訪問介護のみに処遇改善等の支援を行うことは、適切でない。

様々な機会を通じ、適切な報酬の設定について国に要望していく。

問 給食の安全確保の取り組みは

答 適切に実施している

問 今年2月に福岡県で、小学1年生の男児が食材を喉に詰まらせ

問 移動手段の確保を早急に

答 新しい交通体系をつくりたい

問 バスの運転手の待遇改善を

答 見直しを進めている

亡くなる事故があった。昨年は、保育園で乳児が食材を喉に詰まらせる事故が相次ぎ、過去には、食物アレルギーのアナフィラキシーによる死亡事故などもあり、給食の異物混入事故のニュースも後を絶たない。給食の安全性の確保、事故防止の対策は。

答 福岡県の事故を受け、直ちに校園所長会に、児童・生徒に注意喚起

を行うよう指示した。学校給食衛生管理基準に基づき、適切に学校給食を実施している。また、児童・生徒に、しっかりと食べ方指導も行っている。

県費の栄養教諭に加え、町費の栄養士を配置し、事故が発生しないような体制づくりに努めている。



かわい しげる
川井 茂



質問者の動画は
こちらです

問 「地区防災計画」の策定は

答 地域防災力の底上げに重要

問 減災に大きな役割を担うのは自助、共助、公助との連携である。

この視点に立つと町民の防災意識向上には「自主防災組織」と各

地区防災リーダーの人材育成が必須であり、並行して「地区防災計画」の策定を進めることがスタートだと考える。

答 自主防災組織や自治消防団の活動とともに、新たな防災の担い手として防災士の活躍を期待している。

各地区の「自主防災組織」と各地区防災

公助を担う町職員も47人が防災士資格を取得しており、庁舎内での継続的な学びも必要と感じている。



防災訓練の様子

問 北地区、上地区のように「防災会」を主体に「防災計画」を作成し、防災訓練へと進めている自治会があるが、まだそれに届か

ない地区もある。その地区に応じた地区独自の「地区防災計画」作成を具体的にどのように進めていくのか。

答 地区防災計画の作成は、共助の取り組みであるとともに、町の地域防災力向上の一環でもある。

作成に向けた取り組みに対し、アドバイスできる体制構築を検討していく。

問 各地区担当のアドバイザーとして、防災訓練を目的とした防災組織や計画作成に対し、町職員が協力できないか。

答 地区防災計画の作成に向けた取り組みに対し、今後どのような協力ができるか検討していく。

行政視察

5月2日に、韓国の固城郡（コソングン）議会議員や郡主をはじめ12人が来訪され、小豆島への観光客数や観光客誘致の取り組みについて視察を行いました。



来訪された韓国固城郡議会議員ほか

韓国の固城郡でも小豆島のような観光地をめざしており、町から事業者への補助などの取り組みについて、質問がありました。

5月14日に、鹿児島県日置市議会議員4人が来訪され、小豆島町のオリーブ栽培と加工・販売の官民連携について、オリーブ公園や町内のオリーブ事業者の視察を行いました。

オリーブの生産の課題や人材育成、6次産業化への取り組みについて質問がありました。



視察研修の様子

全員協議会

5月17日に、全員協議会を開催し、住民から提出された「草壁・高松航路の再開に向けた要望書」について協議しました。

要望書で「議会に特別委員会を設置し、草壁航路をめぐる諸課題について議論の場を」については、特別委員会を設置することに発議する議員はいませんでした。

議会あれこれ

4月

8日 広報編集特別委員会

10日 広報編集特別委員会

5月

2日 韓国固城郡議会視察受入

14日 鹿児島県日置市議会視察受入

17日 議会運営委員会

第2回臨時会

全員協議会

21日 全国町村議長・副議長研修会

24日 小豆郡町議会議長会

6月

5日 議会運営委員会

13日 第2回定例会

編集後記

▼4月24日に、人口戦略会議の発表がありました。

▼2020年から2050年の30年間で20歳から39歳までの女性が半分以下になる自治体を消滅可能性自治体としました。

▼香川県では、さぬき市、東かがわ市、琴平町、土庄町が消滅可能性自治体と発表されました。

▼小豆島町も、若い女性の減少率が49・9%で残念ながら消滅可能性自治体に近いレベルです。

▼若い人が少なく、多方面で担い手不足になってきています。

▼島の未来のために、少子高齢化を止める方策を官民を上げて考え、行動していかなければならないときだと思っています。

高橋 淳 記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL (0879) 82-7060 FAX (0879) 82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp